



中学・高校留学

オーストラリア&ニュージーランド



1年間留学 卒業留学 国際バカロレア留学 不登校留学





私共OKCが目指すものは個人留学においては、その目的や夢が達成されるようお手伝いをすることです。高校留学を通じて国際的視野で考え行動し、その体験が人生の貴重な財産となることを願っています。

学校の国際教育事業においては私共が提案する教育プログラムやお手伝いが、学校の独自性の確立や国際教育の一助となり、更なる学校の発展に繋がり、そして参加した学生が社会に巣立つ為の道標になることを願っています。

日本がますます国際社会において重要な役割を求められる中で、OKCの提案や活動が次代を担う若者の育成に役立ち、新たな人生の発見に貢献出来ましたら、これほど嬉しいことはありません。

OKC 代表 西村 紘史



OKCは日本で最初の
オーストラリア・ニュージーランド
専門留学代理店

留学団体では唯一の受賞
オーストラリア政府より

ビジネスアワード受賞



CONTENTS

OKC中学・高校留学の特徴	2
カウンセラーのご紹介	3
中学・高校留学の魅力(オーストラリア・ニュージーランド)	4
海外日本人アドバイザーネットワーク (現地事務所・日本人アドバイザー紹介)	5-6
オーストラリア・ニュージーランドの教育制度	7
学校のご紹介 (中学・高校一覧)	8
プログラムのご紹介	9
現地での生活	10
国際バカロレア留学 (IB留学)	11
不登校留学	12
卒業後の進路 (帰国子女として日本の大学に進学・海外への大学進学)	13
体験談	14



OKC中学・高校留学の特徴

日本人スタッフが常駐

オーストラリア・ニュージーランド5都市に直営事務所を展開、16都市に日本人アドバイザーを配置し留学の安心・安全をサポートしています。

最も多くの現地校とのネットワーク展開

オーストラリア : クイーンズランド州教育省・南オーストラリア州教育省
ニュージーランド : 現地高校284校と提携しニュージーランド全土にネットワークを展開

帰国子女としての日本の大学進学のご案内

高校卒業後、帰国子女としての日本の大学への進学をサポート

ニュージーランド国際バカロレア留学はOKCで受験できます

国際バカロレア留学でケンブリッジ大学・ハーバード大学など世界的に有名な大学に進学できます。ニュージーランドで最も実績の多い国際バカロレア実施校は日本のOKCで受験出来ます。

専任の担当者が対応しています

専任の担当者が日本でご相談に対応し、オーストラリア・ニュージーランドで現地でも専任の担当者が留学が成功できるようお手伝いしています。

費用は実費で明細を提示しています

OKCは設立以来30年以上、すべての費用は実費で明細を提示してまいりました。明細不明の一括料金の提示は行っておりません。

オーストラリア・ニュージーランド15大学の公式代理店

オーストラリア・ニュージーランドの15大学の公式代理店ですので現地高校在学中に卒業後の進路相談や大学訪問が出来ます。



カウンセラーのご紹介

OKCのカウンセラーが留学に関する疑問にお答えします

無料カウンセリング

留学先について、留学期間や、編入時期のタイミング、実際の現地校での生活やホームステイについて、留学後の進路まで、幅広いご相談を受けいたします。カウンセリング費用は頂いておりません。

留学に関する費用についても、ご希望に応じてお見積りをご提供いたします。

ご来社が難しい場合は、スカイプやお電話、メール等でもカウンセリングを承りますので、どうぞお気軽にお問合せ下さい。

カウンセラー全員が留学経験者

海外で数々の困難や壁にぶつかりながら、留学を経験したカウンセラーが、皆さんの悩みや不安も、親身になってお伺い致します。留学に成功する秘訣や危機管理も事前のオリエンテーションを通してアドバイス致します。



東京オフィス



小野 友一
OKC国際教育開発室
チーフアドバイザー

今、時代は全ての分野でグローバル人材を求めています、高校留学で世界の友達を見つけ世界的視野で考える若者になりましょう！

富士通勤務などを経て現職、英検1級、TOEIC®970点保有
京都大学卒、オクラホマ州立大学大学院修了



青木 さおり
OKCカウンセラー

高校留学はあなたの人生の財産になると信じています。お一人お一人に合った高校留学が実現出来るようお手伝いいたします。

社会教育主事資格保有、青山学院大学文学部卒業
ロンドン大学SOAS 歴史学科修了

大阪オフィス



宮本 美隆
OKC大阪オフィス所長

高校留学によって新しい自分、自立する自分、自信が持てる自分を見つけましょう！私が一緒にお手伝いいたします。

約25年間、留学代理店（海外教育・研修専門会社）京都支店
支店長を経て現職、立命館大学卒



福田 弥生
OKCカウンセラー

高校留学を迷っているあなた、一歩踏み出しましょう！
人生チャレンジです。チャレンジしてこそあなたの新しい
人生の扉が開きます。

TOEIC®965点・英検1級保有、私立中高進学校にて5年の教師
経験を経て現職、同志社大学英文学科卒業



中学・高校留学の魅力（オーストラリア・ニュージーランド）

一口に海外の中学校・高校に留学するといっても、現在は選択肢が広がっています。その気になればいろいろな国へ留学できる良い時代になったともいえます。この中でOKCは主にオーストラリア・ニュージーランドでの中学・高校留学を取り扱って30年。なぜでしょうか？それは次のようなメリットがあるからです。

世界でも高水準の教育環境

世界大学ランキングでも両国の多くの大学がランクインし、ノーベル賞受賞者や映画監督、国際企業経営者など世界中に優秀な人材を輩出しております。現在、ロシア、中国、ブラジル、欧州、中東など世界数10ヶ国から国費奨学生が留学しておりますが、それは良質な教育環境にあることを世界が認めている証です。



個性を伸ばす授業カリキュラム

中学・高校では1クラス20名が平均の少人数制クラスで中身の濃い授業が展開されています。公立の学校でも小学生時より自身の個性や得意分野を意識させ、また自身の意見を論理的に他人にプレゼンテーションできる能力を養成する仕組みです。そのため勉学の意識が高く、日本では大学で学ぶようなフランス語、経済学やビジネススキルなど高度な科目が中・高校で広く設定されています。



時差が少なく治安のよい生活環境

ほとんど時差のないオーストラリア、ニュージーランドでは日常の中で連絡も取りやすく生徒さんも保護者の方も安心です。また国としても日本と同様の治安の良さが、両国ならではの特徴です。



留学生を保護する法体系

両国は留学生をサポートするために、世界でも稀な厳しい保護法を制定しています。

オーストラリア ESOS 「留学生のための教育サービス法」



留学生を受け入れる教育機関は、ESOS登録の際にまず必要条件を満たすことが義務付けられています。留学生のマーケティング活動、教育の提供方法、施設や学生向けサポートサービスなどに関する厳しい基準を満たしていない場合、その教育機関は登録されません。



ニュージーランド Code of Practice 「留学生の生活保障に関する服務規程」



ニュージーランドは、留学生が安心して生活できるように保護する取り組みを率先して行っており、「留学生サポートのためのガイドライン（Code of Practice）」を設けています。このガイドラインには、留学生が支払った学費の保護規定もあります。概要は次の通りです。

- 留学生に正確かつ最新の総合的な情報を提供すること
- 倫理的で責任のある留学生の募集を行うこと
- 18歳未満の留学生には宿泊及び生活面で特別な配慮をすること
- サポートサービスを提供すること
- 苦情窓口を設けること
- 留学及びホームステイ斡旋業者の営業に対する最低基準を設定することなど

海外日本人アドバイザー ネットワーク

OKC直営オフィスと経験豊富な日本人アドバイザーが、皆さんの留学生生活をサポートいたします

OKC現地直営オフィス

オーストラリア



シドニー - SYDNEY



ブリスベン - BRISBANE



オークランド - AUCKLAND



ウェリントン - WELLINGTON



クライストチャーチ - CHRISTCHURCH

ニュージーランド

現地アドバイザーが生活面だけでなく、メンタル面も含めケアをし、ご本人の自立心の育成をサポートします。海外での生活や学校、ホームステイでの出来事など、どんなことでも、お気軽にご相談いただき、心配や不安を一緒に解消していきます。また、日本にいらっしゃるご家族への成績表の和訳や定期報告などを行い、病気や事故などの緊急時には担当アドバイザーと24時間連絡が取れ、解決のためのアドバイスや対応を迅速に行います。ご本人だけでなく離れて暮らすご家族全員が安心してお子様の留学生活を見守っていただけます。

サポート内容

空港出迎え

各ホームステイ先への付添い
オークランド・クライストチャーチ空港での乗り継ぎアシスト

現地オリエンテーション

銀行口座の開設、郵便局の使い方など / 日常生活に役立つアドバイス
現地でのエチケット、ホームステイマナー / トラブル時の安全対策

定期報告

成績表の和訳。学校生活のレポート和訳
ホームステイ、アドバイザー総評
初年度は現地校学期末ごとに年4回（4月、7月、10月、12月）
2年目以降は年2回（7月、12月）

カウンセリング

ホームステイ・金銭面・ホームシック / 友人関係・英語力・学校生活
高校での選択科目へのアドバイス

留学中手続きサポート

ビザ更新・願書提出 / 編入時に必要書類の指示
高校編入準備及び現地高校とのコンタクト
ホームステイ費用や海外旅行保険更新の連絡・手続き

現地学校進学の情報提供

高校進学 / 海外の国公立大学・専門学校進学 / OKC現地提携大学進学

緊急時の24時間体制の連絡・サポート

病気やけが、事故・災害や犯罪に巻き込まれたとき

その他

日本一時帰国の際の航空券手配
保護者の方への現地訪問時のホテル等手配
一年を通じての臨時レポート など

オーストラリア 現地アドバイザー

ブリスベン

OKC OFFICE



由佳 Nilon

言葉や考え方の違いで誤解が生じることもあるでしょうが、一つずつ解決していきましょう。

シドニー

OKC OFFICE



林 正治

シドニーはオーストラリア最大の都市です。英語を身につけ、国際性豊かな友達をたくさん見つけてください。

メルボルン



由美子 ホーキンス

勉強だけではなくスポーツやアクティビティなどにも積極的に参加して、たくさんのご経験をください。

パース



中嶋 美枝子

世界で一番美しいといわれる都市パースで豊かで楽しい滞在が出来るようお手伝いします。

アデレード



千佳 スネドン

多くを感じる事が出来るあなたの10代をヨーロッパの面影を残す街アデレードで過ごしてみませんか。

ケアンズ



由美 スミス

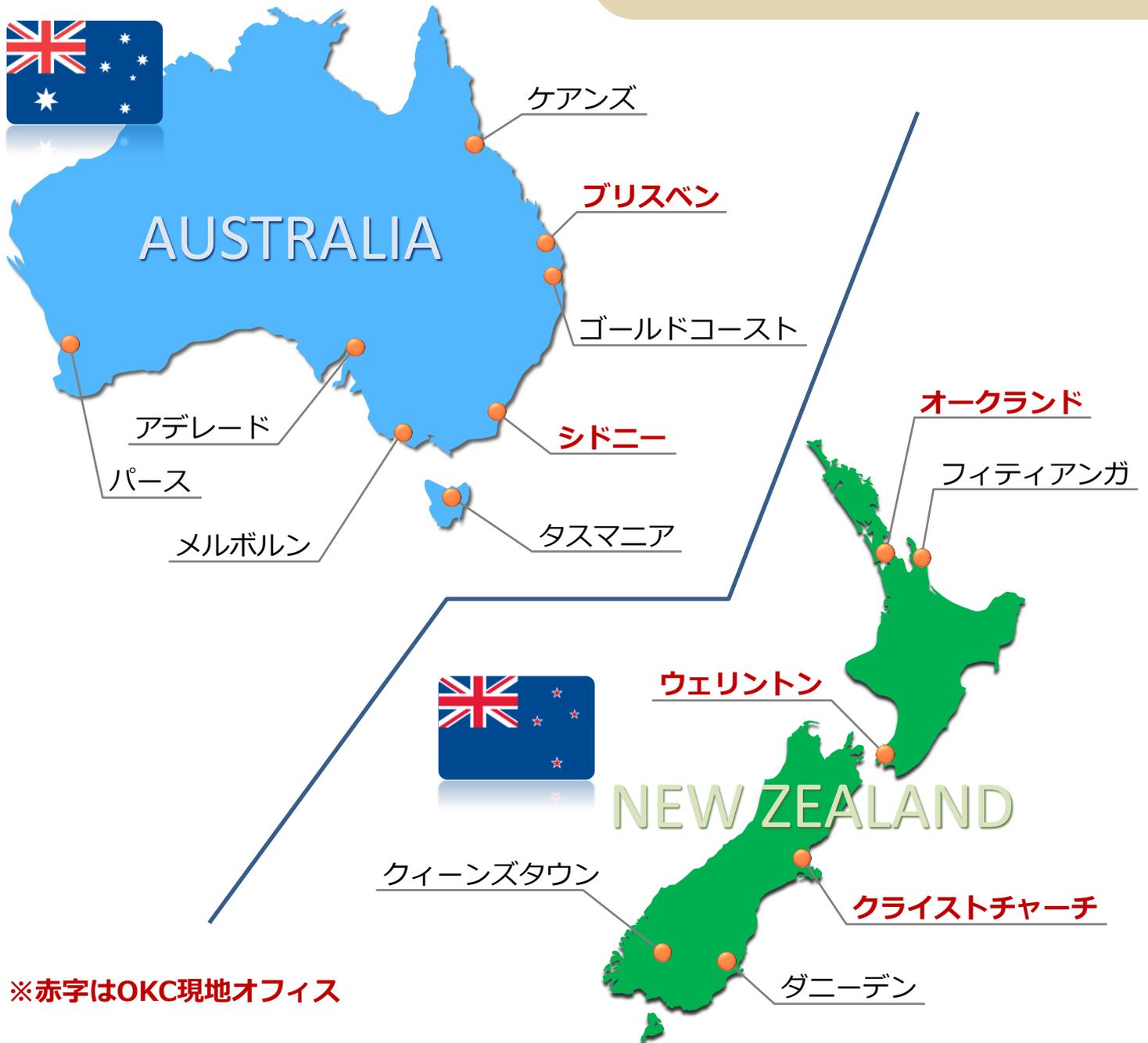
しっかりとした目標は、留学生生活を有意義なものにしてくれます。一緒にがんばりましょう。

タスマニア



孝女 サバイン

歴史ある美しい島タスマニアで、皆さんのハイスクールライフをサポートいたします。



※赤字はOKC現地オフィス

ニュージーランド 現地アドバイザー

オークランド

OKC OFFICE



松崎 優香

高校時代はいろいろ悩むことも多いでしょうが、一人で悩まず私たちをお母さん・お姉さんだと思って、いつでも相談してください。

ウェリントン

OKC OFFICE



門奈 美恵子

大切な高校時代を皆さんが、どんなことでも自分のプラスにできるようサポートしていきたいと思っています。

クライストチャーチ

OKC OFFICE



イクコ クラーク

緑豊かなクライストチャーチで新しい生活を始めてみませんか。自然や人々の優しさに触れあい、忘れかけていた自分を取り戻してください。

キーンズタウン



一瀬 寿麻

大自然に囲まれた美しい街キーンズタウンで一生に残る楽しい思い出を作ってください。

ダニーデン



カナコ ロックマン

スコットランド風の大学の町ダニーデンでニュージーランドの歴史と文化に触れてください。

フィティアンガ



公子 リギンズ

学校の友達や先生、ホストファミリーなどたくさんの人々とふれあい、あなたの枠を広げていってください。

オーストラリア・ニュージーランドの教育制度

両国では中高一貫教育で、日本の高校一年生に当たる学年までが義務教育となっています。義務教育終了後の2年間は卒業後の進学のための準備期間で、最終学年は大学進学を決める卒業試験を受けます。また、イギリスの教育制度も取り入れているため、大学の文系は3年制なので、高校編入+高校+大学で日本の大学より早く卒業できるのも魅力です。

教育制度の比較

年齢	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
日本		小学校					中学校			高校			大学					
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3	1	2	3	4	
オーストラリア		プライマリースクール (小学校)					セカンダリースクール (中・高校)						大学					
		1	2	3	4	5	6	ジュニア			シニア							
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	TAFE				
ニュージーランド		プライマリースクール (小学校)					インターミディエイトスクール		セカンダリースクール (中・高校)					大学				
		1	2	3	4	5	6			ジュニア			シニア					
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	ポリテクニク			

オーストラリア・ニュージーランドの学期制度			
1 学期	1月下旬～4月上旬		1年間留学プログラム (1月、4月、7月、10月出発)
2 学期	4月下旬～7月中旬	編入準備校	10週間 1月出発の場合 (1月～3月)
3 学期	7月下旬～9月下旬		卒業留学プログラム (1月、4月、7月、10月出発)
4 学期	10月中旬～12月中旬		約4～24週 期間は英語力・成績により異なります
※学期と学期の間は2週間学校がお休みとなります。		現地の高校	30週間 1月出発の場合 (4月～12月)
			Year7～13の1～4学期 (NZの場合) 編入学年は年齢・成績により異なります

例) 中学3年卒業後、4月からオーストラリアの高校へ卒業留学の場合

	1月	4月	7月	10月	12月
1 年目	日本の中学校卒業		高校編入準備コース受講 英語+高校の科目のスタディスキル		高校Year9 4学期入学
2 年目	高校Year10 1 学期		2 学期	3 学期	4 学期
3 年目	高校Year11 1 学期		2 学期	3 学期	4 学期
4 年目	高校Year12 1 学期		2 学期	3 学期	4 学期 (卒業)

編入準備校とは？

各学校が提携している政府公認の英語学校では現地校での学習がスムーズに行えるように、編入準備コースを受講できます。英語のほかには数学や社会などの一般主要科目の基礎を学びます。

準備コース受講のメリット

- 1) 英語で授業を受けるための基礎能力をつけられる！
- 2) 各科目別のスタディスキルを身につけられる！
- 3) 同世代のインターナショナルな友達に出会える！

個性や能力を伸ばす現地校での授業

1クラスの人数は日本に比べ一般的に少人数制。活発なディスカッションを行い、個人の意見や判断力、分析力などを伸ばすことを重視し、目的にあった柔軟なカリキュラムが組まれています。テストの結果も大事ですが、授業にどれだけ積極的に参加しているかということも評価の対象です。多くの学校が留学生のための英語補講 (ESL) クラスを設けておりますので、留学生同士の交流が出来ます。



編入準備校での時間割 (例)					
	月	火	水	木	金
1 限目	General English				
BREAK					
2 限目	Study Skills Math	Science	Study Skills Science	Music	Study Skills History
LUNCH					
3 限目	Computer	General English	Music of Art	Study Skills General	Sport or Recreation Studies
現地の高校の時間割 (例)					
学年	教科		科目		
Year 11 (高校1年生)	英語、数学、歴史、地理、科学、保健体育		外国語 (フランス語、ドイツ語、イタリア語、中国語) 美術、音楽、コンピューター、デザイン、ダンス、演劇、アジア学、宗教学 など		
Year 12 (高校2年生)	英語と数学、化学、応用学習の中から1科目		外国語、応用数学、科学、化学、工業、物理、地質学、農業、コンピューター、デザイン、音楽、法律、演劇、現代史、経済 など		
Year 13 (高校3年生)	英語と数学、化学、応用学習の中から1科目		外国語、応用数学、科学、化学、工業、物理、地質学、農業、コンピューター、デザイン、音楽、法律、演劇、現代史、経済 など		

学校のご紹介（中学・高校一覧）

オーストラリア AUSTRALIA



The Illawarra Grammar School

イラワラ・グラマースクール



シドニー中心部から1時間15分、シドニー空港から1時間の距離にある町ウーロンゴン（Wollongong）は美しい海岸の街です。音楽やパフォーマンス教育に力を入れており、現在日本人留学生の数は少ないながらも、日本語教育を熱心に行っています。教育に対する意識が非常に高く、バカロレア（IB）留学コースがあります。卒業生の大多数が名門大学のシドニー大学やウーロンゴン大学に進学しています。

- 所在地/NSW州ウーロンゴン
- タイプ/私立共学
- 創立/1959年
- 生徒数/1,100人
- 制服/あり
- 滞在方法/ホームステイ

Hillcrest Christian College

ヒルクレスト・クリスチャン・カレッジ



ブリスベン市内より南へ車で1時間程のゴールドコーストの住宅街に位置しており、海にも近く周辺には公園や学校が点在しており落ち着いた環境です。キリスト教の教義に基づき、生徒の学習面だけでなく精神面、社交性、文化理解などの側面を伸ばすことにも積極的な姿勢を持っています。少人数制クラスによる質の高いきめこまやかな指導をモットーにしています。

- 所在地/QLD州ゴールドコースト
- タイプ/私立共学
- 創立/1982年
- 生徒数/750人
- 制服/あり
- 滞在方法/ホームステイ

John Paul College

ジョン・ポール・カレッジ



ブリスベン市内より車で約20分、ゴールドコーストまで40分という便利なロケーション。学校付近には自然公園があり美しい大自然の中、30ヘクタールの広大な敷地のキャンパスは静かな学習環境を提案しています。スポーツも盛んで、Primary, Secondary, Seniorを合わせると100以上のスポーツチームがあり、専任コーチのもと週末には各種大会へ出場しています。国際バカロレア（IB）留学コースも提供しています。

- 所在地/QLD州ゴールドコースト
- タイプ/私立共学
- 創立/1982年
- 生徒数/2,500人
- 制服/あり
- 滞在方法/ホームステイ

Citipointe Christian College

シティポイント・クリスチャン・カレッジ



ブリスベン市内から車で20分、市内へも比較的近い場所に位置。学校周辺は閑静な住宅街で静かな環境で落ち着いて学習することができます。キリスト系の学校で、生徒一人一人の将来の職業や進学のために、個々の能力を最大限に生かす指導をしています。スポーツ、バンド、演劇、ミュージカル、キャンプなどオリジナリティあふれる課外授業もこの学校の特色です。

- 所在地/QLD州ブリスベン
- タイプ/私立共学
- 創立/1978年
- 生徒数/1,420人
- 制服/あり
- 滞在方法/ホームステイ

Blackwood High School

ブラックウッド ハイスクール



学業や舞台芸術、そしてスポーツなどの功績において名高い学校。女子学生はSpecial Interest Netball programというものに参加することができ、このプログラムを通じ技術の向上や競争心を養うことができます。また、国際バカロレア（IB）教育にも力を入れており、8〜12年生の生徒に向けたIBコースも特色の一つです。

- 所在地/SA州アデレード
- タイプ/州立共学
- 創立/1961年
- 生徒数/900人
- 制服/あり
- 滞在方法/ホームステイ

<ホームステイについて>

ホームステイとは現地の一般家庭に家族の一員として生活する滞在方法です。ホームステイでは、実際にオーストラリア・ニュージーランドの家族と住むことにより、英語力の向上はもちろんその国の文化や習慣を体験することが出来ます。

ニュージーランド NEW ZEALAND



Avondale College

アボンデール・カレッジ



NZ最大の都市オークランドの中心部西よりに位置。国内で2番目に在籍数の多い共学校。近年、学業面での高成績が目覚しく、ニュージーランドでもトップレベルの学力を誇ります。生徒たちには幅広いカリキュラムが提供され各生徒の学力に応じた成績向上のための指導など個人学習のサポートも充実しています。教室の外でのスポーツやアウトドアアクティビティでも、幅広い分野に取り組める機会が与えられています。

- 所在地/オークランド
- タイプ/公立共学
- 創立/1945年
- 生徒数/2,700人
- 制服/あり
- 滞在方法/ホームステイ

Rangitoto College

ランギトト・カレッジ



オークランド市内より車で約30分ほど、市街地からバスで10分程の静かな郊外に位置。自然も多く、市街地へのアクセスにも便利な環境にあります。ニュージーランドで最大規模を誇る高校で、世界一流クラスの教育・留学経験を提供しています。この学校の生徒は学校そのものの誇りを持つと同時に、世界一流クラスの教育を受けられる学校教育に対しても誇りを持って生活しています。

- 所在地/オークランド
- タイプ/公立共学
- 創立/1956年
- 生徒数/3,000人
- 制服/あり
- 滞在方法/ホームステイ

Tawa College

タワ・カレッジ



ウェリントン市街地から電車で15分ほどのタワという郊外にある学校。1961年設立。スポーツと音楽を通じてコミュニティとの交流が盛んで、地域社会に根付いています。基礎学習～生徒の興味・能力に対応した様々な選択科目まで、バランスの取れた教育体制、カリキュラムが教育機関の調査で高い評価を得ています。スポーツ、文化、各種アクティビティにおける好成績が顕著です。

- 所在地/ウェリントン
- タイプ/公立共学
- 創立/1961年
- 生徒数/1,340人
- 制服/あり
- 滞在方法/ホームステイ

Sacred Heart College

セイクレッド ハート カレッジ



1912年、カソリックのシスターによって開校されたハット・バレーエリアでは最も歴史の長い学校です。ウェリントンから15分ほどのロウワー・ハットエリアに位置。近年、新築、改築された施設もあり、よくメンテナンスされた校舎で学校生活を送ることができます。学業・芸術・スポーツの各分野において、優秀な成績を収めている生徒が多いです。

- 所在地/ウェリントン
- タイプ/公立女子校
- 創立/1912年
- 生徒数/820人
- 制服/あり
- 滞在方法/ホームステイ

Riccarton High School

リカートン ハイ スクール



1958年に創立された伝統と歴史のある学校です。古くから海外の学生を積極的に受け入れてきており、ケアにも定評があります。また、クラブ活動においても様々な文化の特色が現れたものが用意されています。学校の教育方針としては、IT関連の教育に注力しています。学校の敷地内には、10ヘクタールにもおよぶ広大な緑豊かなグラウンドがあり、生徒がスポーツやリラクゼーションする場所として提供されています。

- 所在地/クライストチャーチ
- タイプ/公立共学
- 創立/1958年
- 生徒数/900人
- 制服/あり
- 滞在方法/ホームステイ

<寮について>

私立高校では学生寮を持っているところがあります。学校によって異なりますが、大体2〜4人で一部屋です。寮制の学校は一般的に進学校が多く、勉強や食事をする時間や門限など、ルールが決まっています。規律正しい生活となります。

プログラムのご紹介

一口に海外の中学校・高校に留学するといっても、現在は選択肢が広がっています。その気になればいろんな国へ留学できる良い時代になったともいえます。この中でOKCはオーストラリア・ニュージーランドでの中学・高校留学を30年以上取り扱っております。

卒業留学プログラム

卒業後は海外の大学へ進学したい方に

英語力に応じた期間の準備コースで勉強したあと、高校に編入し卒業をめざします。小中学卒業後、または高校在学中に現地の中学校に入学し、現地高校を卒業するプログラムです。卒業後は日本の大学へ帰国子女として進学、オーストラリア・ニュージーランドなど世界の大学への進学など可能性が広がります。

●スケジュール



1年間留学プログラム

高校留学を体験し、国際性を身につけたい方に

現地で中学・高校入学前に基礎英会話と教科書用語などを学ぶ英語準備コースを受講します。その後現地高校に編入する1年間の留学プログラムです。1年間留学は日本の多くの高校が単位として認定しています。現地で卒業留学への切り替えも可能です。

●スケジュール



●高校への復学方法

1. 出発時の学年に戻って復学する
 2. 進級して復学する
- この場合、海外の高校で取得した単位を帰国後に日本の高校での単位として認めてもらわなければなりません。→（単位認定制度）

● 単位認定制度 ●

1988年から、日本の高校生が海外の高校で取得した単位を1学年分（36単位）まで文部科学省が認めるようになりました。この制度により、帰国後に日本の高校に復学する場合、海外で習得した単位を認めてもらい、進級して復学することが出来ます。ただし、単位認定の判断権限は各学校の校長先生に委ねられているため、生徒は復学後の進路について、プログラム参加前に必ず学校に相談することが必要です。
※平成22年改訂

1学期間留学プログラム

短期間でも現地で高校留学体験をしたい方に

現地で中学・高校入学前に基礎英会話と教科書用語などを学ぶ英語準備コースを受講し、その後高校に編入する、1学期間の留学プログラムです。1学期間留学は日本の多くの高校が単位として認定しています。現地で1年留学卒業留学への切り替えも可能です。

短期語学留学プログラム

本格的な留学の前に一度現地を見たい方に

本格的な留学をする前に現地を訪ね、語学学校に2〜4週間入学するプログラムです。ホームステイを体験し、語学力を向上させながら、現地の学校を訪問して本格的に留学を考えることができます。現地ではOKC事務所を訪ね日本人スタッフに、留学に関する成果や不安などについて相談することもできます。

現地での生活

授業風景

先生が一方向的に授業を進める詰めこみスタイルとは違い、現地の学校では、生徒自らが考えて、積極的にディスカッションをしたり発言をしたりする場合があります。またICT教育も積極的に行われており、学校にはWifi環境が整備され、タブレットやパソコンを持参して、授業を進める学校も多くなっています。



勉強する科目：学年によっても変わってきます。例えば日本の中学3年に相当する現地の学年では、必修科目は英語、数学、科学、体育が一般的です。学年が上にあがるにつれ選択科目の数も多くなり、ドラマ、ビジネス(経済、会計)、デジタルテクノロジー(デジタルテクノロジー、食品と栄養学、技術)、ニュージーランドではマオリ語、ラグビー等、日本の中高にはない科目も勉強できます。

クラブ活動

現地生徒と交流関係を深める為にも、現地校の部活に入ることをお勧め致します。部活の種類は音楽系、スポーツ系、文化系まで、学校や時期等によって様々です。日本のように毎日放課後に練習があるわけではなく、活動は週に1~2回となります。是非、自分の興味があるものから、現地でしか体験できないものまで挑戦してみてください。



ホームステイ

ホームステイは現地の一般家庭に入り、その家族の一員として文化の違いを体験する宿泊形式です。また、オーストラリアとニュージーランドは移民でなりたっている国なので、国籍も幅広く、様々な人種の方々が同じ社会に共存して生活しています。ホームステイ先には、シングルマザーの家庭、子どもがいる家庭、リタイアした老夫婦と様々です。それを自分自身の体験とすることで、多彩な人種の人々を分け隔てなく受け入れる心を育てるきっかけにもなります。

ホームステイをすることで、現地の人との交流がより深まるとともに、生活習慣や文化の違いなどを肌で感じる事が出来ます。そして日常のコミュニケーションを通して、語学力だけではなく相手の文化を理解し、尊重できるという真の国際感覚を身につける事が出来ます。



国際バカロレアとは

国際バカロレア機構（IBO）は、インターナショナルスクールの卒業生に、国際的に認められる大学入学資格を与え、大学進学へのルートを確認するとともに、学生の柔軟な知性の育成と国際理解教育の推進に資することを目的として、1968年に発足した非営利の教育機関です。ユネスコや多くの国々の政府機関、財団基金の協力を得て活動を行っています。IBOは、スイスのジュネーブに本部を置き、認定校に対する共通カリキュラムの作成や国際バカロレア試験の実施及び国際バカロレア資格の授与などを行っています。

IBには、3歳～19歳の子どもの年齢に応じて、3つのプログラムがあります。

■初等教育プログラム PYP (Primary Years Programme)

3歳～12歳を対象とした国際バカロレアの入口となる教育課程です。急速にグローバルに発展していく世界で生きて行くのに必要な探究する人としての基礎教育、そのために必要な知力、体力、精神力のバランスが取れた人間になることをめざし、日本の小学校同様の基礎学力を身に付けます。

プログラムの内容は、「私たちは誰なのか」・「私たちはどのような時代と場所にいるのか」・「私たちはどのように自分を表現するか」・「世界はどのような仕組みになっているのか」・「私たちは自分たちをどう組織しているのか」・「この地球を共有するというこ」の6つのテーマを中心とて、「言語」「社会」「算数」「芸術」「理科」「体育」を学習する。精神と身体の両方を発達させることを重視している6年間のプログラムです。

■中等教育プログラム MYP (Middle Years Programme)

11歳から16歳を対象とした5年間のプログラムです。自分が行う学習が実社会とどのように繋がっているかを理解し、自ら考える人間になることを目指しています。プログラムの内容は、言語A | 言語B | 人文科学 | 理科 | 数学 | 芸術 | 体育 | テクノロジー の8つのテーマを中心とて、「学習の方法 (approaches to learning)」・「コミュニティーと奉仕活動」・「人間の創造性」・「多様な環境」・「保健教育と社会性の教育」を複合的に学習。MYP課程の成績は、DP課程の受講科目選択にも影響し、あまり成績が芳しくない場合、DP課程に関連する科目が選択できない可能性もあります。

■ディプロマ資格プログラム DP (Diploma Programme)

16歳～19歳までを対象とした、国際的に認められる大学入学資格（国際バカロレア資格）が取得可能な2年間の教育課程プログラムです。日本の学校でいうと、高校2年～3年の2年間を対象とした教育課程で、いわゆる大学入学準備コースです。日本の高校教育に近い枠組みになっており、6つの教科グループから1科目ずつ選択し、科目の等級（HL、SLなど）を選びます。6つの選択教科のほかに、課題論文 (EE: Extended Essay)、知の理論 (TOK: Theory of Knowledge)、課外活動 (CAS: Creativity/Action/Service) を取る必要があります。従来のDPIは、英語、スペイン語またはフランス語で授業と試験を受ける必要がありましたが、政府の推進方針に基づき、国際バカロレア・ディアルランゲージ・ディプロマ連絡協議会が発足し、日本語で学べるDPを実現しました。日本語DPでは6科目中2科目（外国語に加えて更に1科目）は英語で学習する必要があるとされています。

卒業留学コースと1年間留学コースの違い

Middle Year Programme【1年間留学コース】

日本の中学で1年～3年次を修了または、日本のIB実施高校でIB Middle Year Programmeを履修

高校1年次【1年間留学】
海外のIB実施高校でMiddle Year Programme最終年度を履修

高校2年次
日本のIB実施高校に編入、Diploma Programme1年度を履修

高校3年次
日本のIB実施高校でDiploma Programme最終年度を履修

Diploma Programme【卒業留学コース】

日本の中学1年～3年次を修了

高校1年次
海外の高校へ留学現地高校1年次を修了

高校2年次
現地のIB実施高校に編入、IB Diploma Programme1年度を履修

高校3年次【卒業留学】
現地のIB実施高校でIB Diploma Programme最終年度を履修

海外の有名大学または日本の有名大学へ進学

ハーバード・ケンブリッジ大学等難関大学はIB Diplomaの成績や課外活動などで合否判断
東大や京大は特色入試としてIBの成績を合否判断をして取り入れています。

Auckland International College

2003年に設立し、ニュージーランド国内の高校で唯一、生徒全員が国際バカロレア（IB）コースを履修する。独自のカリキュラムにより、米ハーバード大学、英ケンブリッジ大学、東京大学、シンガポール国立大学など、世界の一流大学への進学実績がある。

オークランド市街地から南西へ車で30分ほど、閑静な住宅街に位置する



不登校留学



保護者様の体験談のご紹介

娘は小中学校までは大変明るくて元気だけが取り得の子供でした。2人姉妹の次女でお勉強は普通の成績でしたが友達も多く、よく家に連れて来たり、遊びに行ったり、まさかこの子が不登校になるとは想像すら出来ませんでした。

不登校の理由はいじめでした。いじめの理由はよく分かりませんが、娘はクラスでは目立った存在だったようです。いじめは日々激しくなり、教科書が無くなっていたり、机の中に墨汁が撒かれていたり、1泊の合宿では食後彼女の寝具だけが片付けられていたりしていました。学校の先生にも相談しましたが、その結果更にいじめが激しくなりましたので他校への転校を考えていたところ、留学の道があることを知ったのでした。

留学の当初は英語が分からず、生活にも慣れず最初の2週間は毎日泣いていたそうです。現地の学校の先生、ホストファミリー、OKC日本人アドバイザーの方々の親身溢れるサポートで段々慣れていき、もともと好きだった音楽のクラブに入ることが出来、日本語クラスの先生のお手伝いをしたところ急に友達が出来始め、学校生活が楽しくなったのです。おかげで卒業後は帰国子女扱いで日本の大学に入学することが出来ました。現地でドイツ人の留学生と友達になりお互いにドイツ語と日本語を英語で教え合い、日本の大学でも第2外国語でドイツ語を選択しましたので、英語とドイツ語が話せるようになったのです。

娘は今でも、「もしあの時留学していなかったら今の自分はなかったと思う。お父さんお母さんに感謝だよ」と言っています。私はそれを聞いて本当に行かせて良かったと思ったのでした。

保護者 小林 満由美

不登校で悩まれている方へ、OKCからのご提案

現在、日本では不登校（連続30日以上欠席）の生徒数が平成25年度で、義務教育である小・中学生で約12万人、高校生で約6万人に達し、合計約18万人（文科省より）が何らかの理由で学校に行っていません。OKCでも30年間で2000名以上の中学・高校留学をお世話して来ましたが、20%にあたる約400名のお子さんが不登校でした。OKCではオーストラリア・ニュージーランド主要都市5事務所の不登校の為の専任日本人スタッフを配置して、不登校問題に理解がある現地学校、そして不登校のお子さんに対応できるホストファミリーを特別に選び、日本の保護者と関係者が連携し一緒に不登校のお子さんが明るい未来を見つけられるようお手伝いするプログラムを設けています。



不登校専任カウンセラーのご紹介



小野 友一【東京オフィス】

OKC国際教育開発室
チーフアドバイザー

京都大学卒、
オクラホマ州立大学大学院修了
富士通勤務などを経て現職
英検1級、TOEIC®970点保有

どんな状況でもやり直すことは出来ます。
新しい可能性と一緒に考え、自立のお手伝いをいたします。



宮本 美隆【大阪オフィス】

OKC大阪オフィス所長

立命館大学卒
約25年間、留学代理店（海外教育
・研修専門会社）
京都支店支店長を経て現職

私自身も子供が不登校の経験をしました。
留学で自分の道を見つけられました。

卒業後・帰国後の進学も安心

帰国子女として日本の大学への進学

『帰国子女として上智大学に進学できました。』

僕は、2012年2月から2014年12月まで約3年間、オーストラリアのゴールドコーストにある高校に留学しました。現地ではOKCの日本人スタッフが、当初は右も左もわからない僕をサポートしてくれ、現地の高校入学に必要な英語力を証明するIELTSのスコアが取得出来なくて悩んでいた時も支えてもらいました。スコアを取得できてゴールドコーストの現地の高校のPalm Beach Currumbin State High Schoolに入学できた時の喜びは、今でも忘れません。

ずっと目標にしていた、サーフィン特別クラスのスポーツエクセレントクラスに入れたこと、仲間達とサウスコースト代表としてスクールタイトルに出場できたことは一生の思い出です。また、約3年間の高校留学を通じてたくさんの友達ができ、語学や異文化を学ぶことができたことは、素晴らしい経験になりました。留学で学べたことは、言葉では簡単に表せませんが、たくさんのことを吸収して一回り成長できたなど感じます。現在は帰国子女として上智大学に入学することができ、外国語学部ポルトガル語学科の学生として、勉強とサーフィンを両立して頑張っています。

柄本 海 様



オーストラリア・ニュージーランド 名門大学 日本公式代理店

オークランド大学・ニューサウスウェールズ大学など、名門大学の**日本公式代理店**だから卒業後の大学進学も安心（オーストラリア・ニュージーランドの大学の日本公式代理店なので、大学進学も相談出来ます）。また、IB（国際バカロレア）留学も紹介しています。

海外国立大学進学プログラム

海外国立大学進学プログラムの特徴は最短2年8ヶ月間（オーストラリア、ニュージーランド、イギリス）で卒業できることです。また大学側が、留学生向けに配慮された少人数クラス編成やカリキュラムを用意していることから一般的な海外大学進学に比較して入学から卒業までよりスムーズに進むことができるのが大きな特徴です。現在海外大学出身者は日本国内での就職において大変有利な位置を占めていることも卒業後を考えた場合非常に大きなアドバンテージです。オーストラリア、ニュージーランド、イギリス、アメリカ、カナダの26大学が対象です。



体験談

『私が成長した高校留学』

オーストラリアに着いてから私は3ヶ月間高校編入準備校に通いました。高校編入準備校では英語だけを勉強するのではなく他国の人々の文化の違いなどいろいろなことを学ぶ事が出来て、自分の英語の語学をどんどんの伸ばしてくれたような気がします。どんな学校なのか、友達は出来るのか、学校に着いたら何をすればいいのか…などいろいろな期待や不安があり、そのせいか高校の入学前日の夜は寝ることすら出来ませんでした。



学校生活の初日は、思った通り友達はその間に出来ませんでした。でも、積極的にオーストラリア人の友達に話かけたりしたら、自分が思ったより周りも自分に興味を持ってくれて最後には信頼できる友達がたくさん出て、帰国1週間前に

は友達が私のお別れパーティーまで開いてくれて、私はこんなに素晴らしい友達を作ることが出来て本当に幸せだなあと涙が止まりませんでした。私にとって今回の留学は人生や考え方を教えてくれた大きな宝物です。

岡村 幸恵 様 Mt.Gravatt State High School (ブリスベン)

『留学から帰ってきた娘に』

ある日突然娘から「オーストラリアへ留学したい」と聞かされ、大変驚きました。いつまでも子供だとばかり思っていた娘が親元を離れ海外へ行く、いつのまにか子供から大人へ、そして一人の女性として自立して立ち立とうとする姿を見て、寂しいやら、心配やらで、とっさに出た言葉は「ダメ」高校ではなく大学に入ってからにしないと反対したものでした。

結果としては本人の意思が大変強く、必ずやり遂げるという言葉信じて留学に同意しました。そして1年の留学を終えて帰国した娘を見た時、心に思った事は、人間としてずいぶんと成長したなあとこの事です。留学中はホームステイの人たちとトラブルがあったり、学校での勉強がすべて英語なので、難しく大変苦労したようです。しかし、何の遠慮も必要ない家庭から離れて、色々な苦労をすればするほど多くの事を学び、言葉も文化も習慣も価値観も違う海外で一人チャレンジした事で、人間として随分成長して帰ってきたと思います。この経験がこれからの本人の人生の大きな自信となり糧となることを願っています。

日本のご両親様より 母：黒松 さやか 様

『我が家へようこそ』

私たちにとって日本人の学生達をファミリーとして迎え入れる事は、とても素晴らしい経験です。今まで滞在した学生達も、すぐに私たちの家族の一員となり、まるでずっと昔から一緒にいるような感じにいつもさせられます。私たちも彼らを家族の一員だと思って、アクティビティーと一緒に楽しみます。学校に行く前には私たちと一緒に朝食を食べ、学校から戻ると夕食の時にはその日にあった事をみんなでお互いに話し、時にはジョークを言って笑ったりします。夕食後はたいてい宿題をやっているようですが、わからない事があると私たちが手伝うこともあります。時々彼らは日本のご両親に電話をしますが、ご両親が英語を話せば私たちが直接ご両親と話します。私たちは日本の文化について留学生達からとても多くのことを学びました。もし日本人の学生をホストファミリーとして受け入れなかったら、この様な事を学ぶ機会には恵まれなかったでしょう。私たちが日本語を話さないの、彼らは毎日新しい英語の単語を聞いたり、使ったりして英語を驚くべき早さで学んでいます。彼らが英語を話すことに自信をつけていくのを見るのはとても嬉しいことです。彼らがホームステイして、私たちが一番辛い事は、彼らが帰国するときヨナラと言わなければならないことですね。

スー・シートン ホストマザー (ゴールドコースト)

『壁を超えると強くなれる！』



日本にいた頃から留学に向けての勉強をしていたので、英語には多少自信がありました。しかし、いざ現地へ着いて突きつけられた壁は、私の力がどれだけ乏しいかを示すものでした。きっと、日本にいた時は自分の持っていた力を客観的に見ることができていなかったのだと思います。そのため、自分の思う

ように感情を表現できなかつたり、相手の言っていることが理解できなかつたりすると、スランプに陥ることも多々ありました。でも、その壁を乗り越えることで、英語力や精神面でも一回りも二回りも成長できたのだと思います。また、現地での生活を通してたくさん友達が出来ました。

第二外国語である英語でコミュニケーションを図るのはとても大変でしたが、私の拙い英語も一生懸命理解しようと努力してくれ、また、私が困っているときには助けてくれたりもしました。この留学で得た人間関係は私のかけがえのない宝物です。

次に、精神面での成長です。しかし、留学生活では、人に頼ってばかりはいられず、自分自身で解決しなければいけないことばかりでした。留学中は苦しいことが多かったように思います。その度に挫折しそうになりました。けれども、前にも述べた通り、困難と向き合い、その壁を乗り越えることで、精神的にも強くなれたと思います。また、自分自身としっかり向き合えるいい機会にもなりました。高校生という時期に留学ができたことは自己形成といった面で私にとってプラスの影響を与えたと思っています。

伊藤 菜那 様 オーストラリアブリスベン

『ニュージーランドの大学に進学して』

3年間の高校留学生活の中で私は色々なことを学びました。英語が話せるようになったのはもちろんのこと、外国での暮らし方や、多種多様な外国人との付き合い方など多くの事を学びました。この国の人達にはこういう事が失礼だとか、日本では考えもつかないという事がある事も学びました。高校留学をして一番大切だと思ったことは、目標を持つことです。目標を持っている人は遊ぶときは遊ぶ、勉強するときは勉強するといったように、自分をコントロールすることができます。私の場合はニュージーランドの大学に入るという事が目標だったので、大学入学の為に英語力と成績が必要でした。目標に向かって努力し、勉強と遊びのバランスをコントロールした結果、無事大学生になることができました。そして今、私の新たな目標は大学を3年間で終わらせ、卒業後ジャーナリストになることです。

私は大学に入って1年半が経ったわけですが、大学生活はとても楽しいです。高校と違って自分の好きなこと、興味のあることが勉強できます。私は文系なので、去年1年で10本もエッセイを書きました。すごく大変ですが、休みが長いので、その間勉強以外で自分の好きなことができます。

これから高校留学しようと考えている人は、せっかくの日本の高校の友達や色々なものを引き換えにしていくのですから、自分の道は自分次第という事を心において、悔いのない留学生活を送ってほしいと思います。

上瀬 斗環 様 ビクトリア大学文学部2年
Paraparaumu College卒業 (ニュージーランド)



各種セミナーのご案内

OKCでは高校留学・インターンシップ・大学・大学院等の留学希望の方のために無料で説明会を開催しています。

こんな方は、ぜひセミナーにご参加下さい！

「留学って何?」という方から「もうやりたいことは決まっているので具体的なことが聞きたい」という方まで、留学体験談や現地最新情報とともに留学・インターンシップ・ワーキングホリデー等についてご説明いたします。

無料カウンセリングのご案内

留学経験のある専任のカウンセラーが、学校紹介・ビザ・アルバイト・現地情報・見積もり作成など留学に関する皆さんの不安や疑問に直接お答えします。

こんな方は、まずメールにてカウンセリングから！

はっきりとした目的が定まっていない方、他社と比較したい方、最初から対面カウンセリングが心配な方、仕事などで時間が不規則な方・遠方でご来社できない方、お問い合わせ内容に不安に思っている内容を記入し、送信してください。

セミナー参加、カウンセリング（お電話・スカイプ・ご来社）には事前予約が必要となります。
OKCホームページよりご予約下さい。

<http://www.koryu.co.jp/>



東京オフィス

〒163-0639

東京都新宿区西新宿1-25-1

新宿センタービル39階

03-3340-5300

okc@koryu.co.jp

03-3340-5327

営業時間

10:00~18:00 (月-金)

11:00~18:00 (第2・4土曜日)

第1・3・5土曜日・日曜日・祝日は休業



大阪オフィス

〒530-0001

大阪市北区梅田1-1

大阪駅前第3ビル30階

06-6341-8248

okcosa@koryu.co.jp

06-6341-8143

営業時間

10:00~18:00 (月-金)

11:00~18:00 (第2・4土曜日)

第1・3・5土曜日・日曜日・祝日は休業



OKC 株式会社
www.koryu.co.jp